

2012年3月期

決算説明会資料



KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

黒田電気株式会社
取締役 代表執行役社長
金子 孝

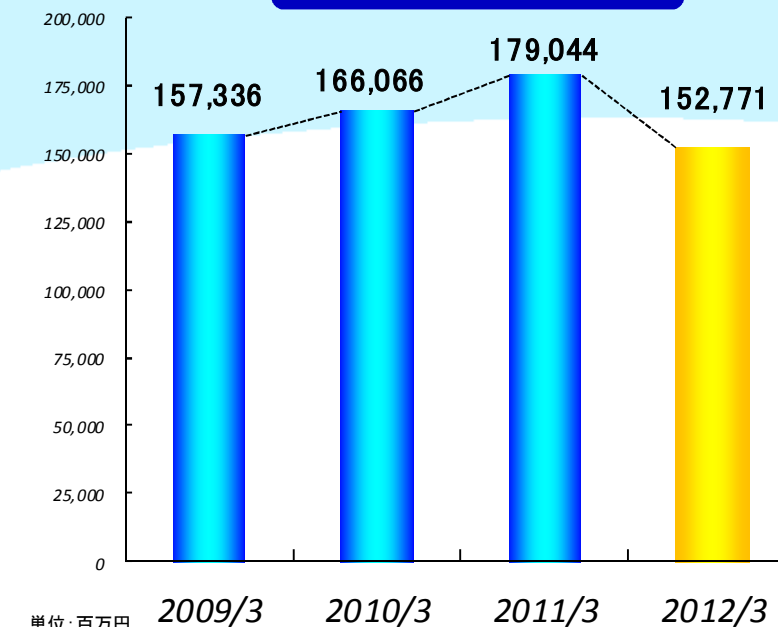
- ① **東日本大震災・原発事故**
(サプライチェーンの寸断、電力不足、生産調整)
- ② **タイの洪水**
(車載・HDD関連のサプライチェーンの寸断、浸水被害)
- ③ **液晶TV関連の低迷**
(エコポイント制度廃止、地デジ需要の反動減、価格下落)
- ④ **車載関連前半低迷**
(サプライチェーンの寸断と日系メーカーの苦戦)
- ⑤ **円高の進行**
(海外シフトの加速、コスト優先の生産体制等)

2012年3月期 決算期概況

年間	決算業績（連結）
売上高	152,771百万円 (前年同期比: 85.3%)
販管費	13,736百万円 (前年同期比: 87.6%)
営業利益	4,602百万円 (前年同期比: 79.1%)
経常利益	4,702百万円 (前年同期比: 81.3%)
当期純利益	2,762百万円 (前年同期比: 77.1%)

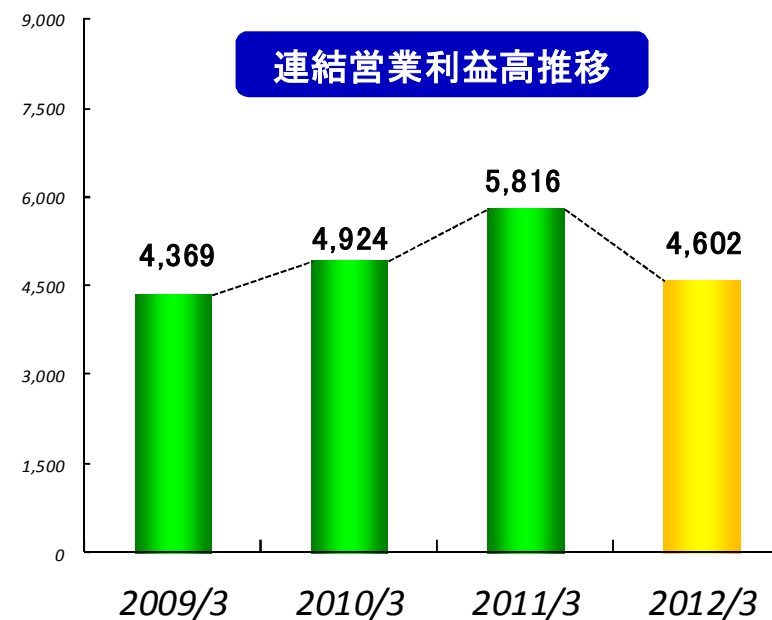
単位: 百万円

連結売上高推移



単位: 百万円

連結営業利益高推移



2013年3月期 ビジネス環境

- ① 先進国(欧米等)の回復は不透明・新興国の成長は継続を予測
- ② 円高傾向は継続しグローバルな企業構造の激変
- ③ 企業は生き残りを目指し、事業統廃合が加速
- ④ 主な業種動向
 - ◆ 液晶関連は、大型が苦戦し低迷を予測、中・小型はモバイルを中心に拡大を見込む
 - ◆ 自動車関連は新興国を中心に現地モデルの市場拡大、又、エコカー補助金制度の需要増を予測する。
 - ◆ 白物家電関連は、高機能製品、又、新興国の需要拡大を予測する。
- ⑤ 海外完結型ビジネス(現地モデル生産、ローカル部材、OEM・ODM化)が加速する。

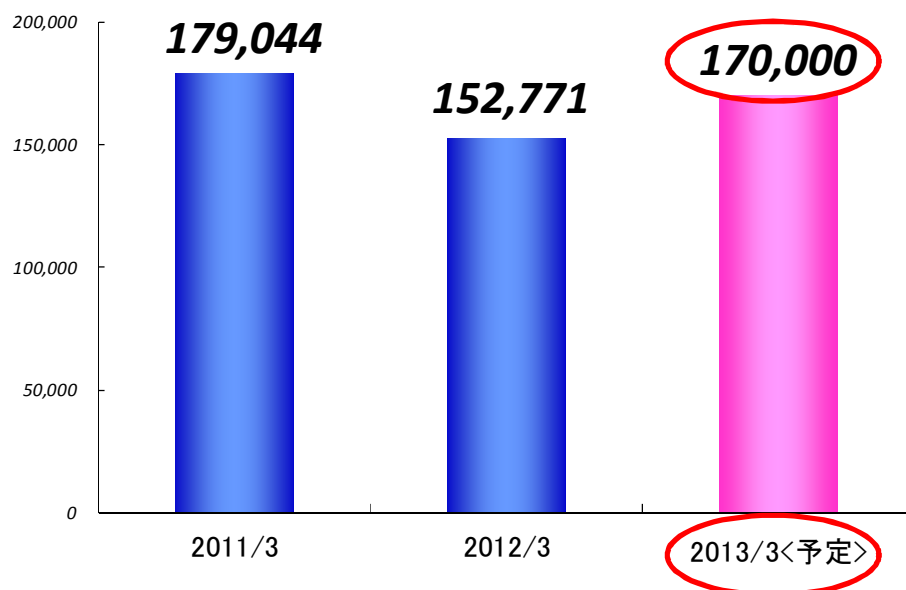
2013年3月期見込み(連結)

売上高目標 170,000百万円 (前期対比111.3%)

営業利益目標 6,100百万円 (前期対比132.6%)

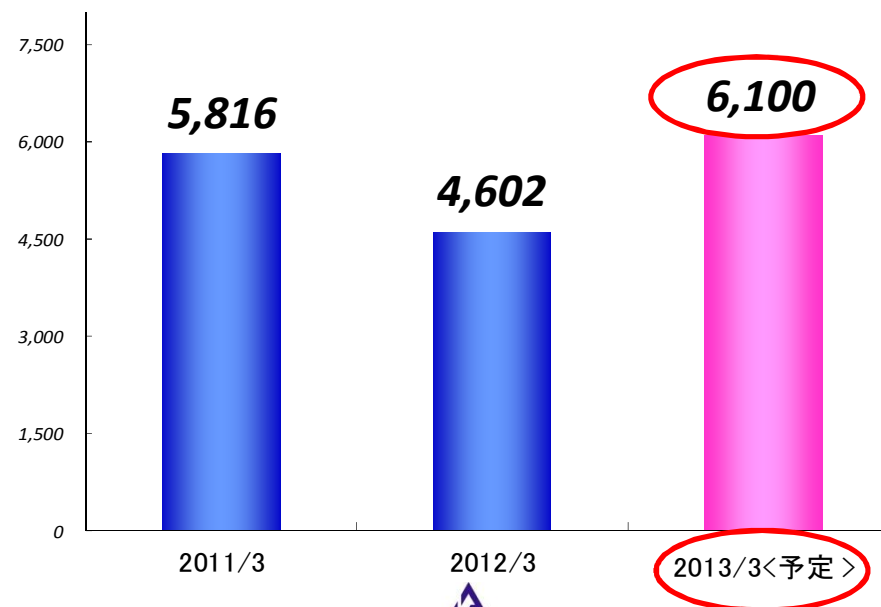
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円

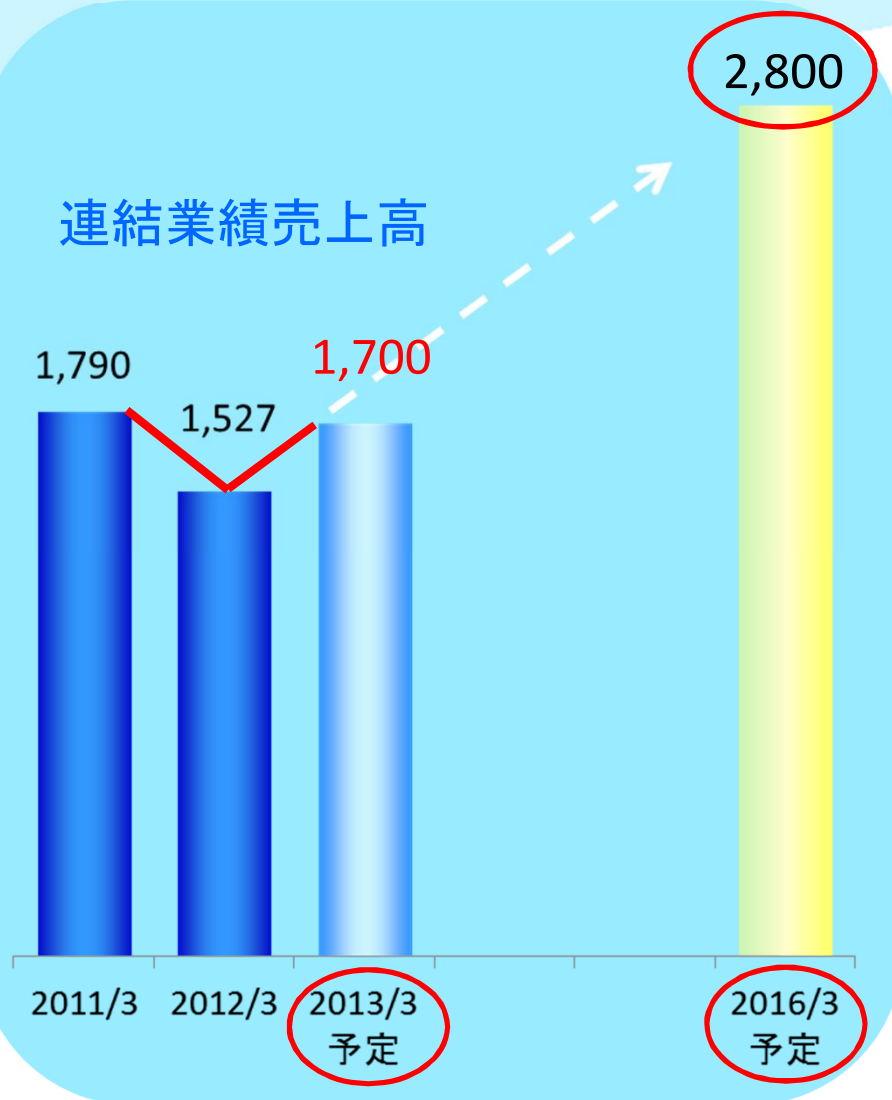


目指す業績

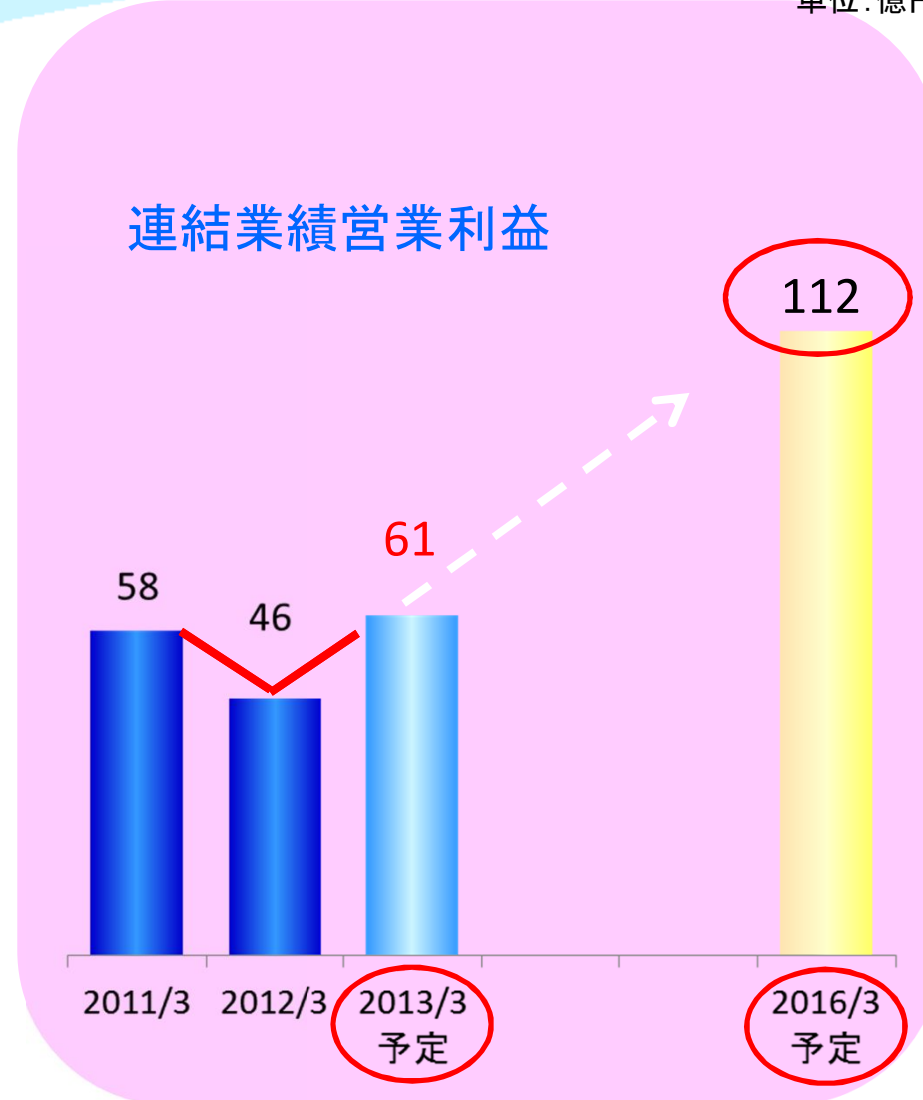
事業領域の拡大・新ビジネス形態・戦略的投資・新たな成長路線

単位：億円

連結業績売上高



連結業績営業利益



グローバル事業展開

成長路線・成長市場に対し事業戦略、及び、拠点展開を積極的に行う。

特に中国・インド・ASEAN地区の拡大を図る。新たに台湾・韓国・ブラジル

台湾・韓国

- ◆新ビジネス形態の検討
- ◆戦略的投資

中国

- ①液晶関連ビジネス
- ②EMS関連ビジネス
- ③情報通信関連ビジネス
- ◆Rainbow Metal 金属プレス
- ◆内陸構想

ブラジル

- ①車載関連ビジネス
- ②液晶関連ビジネス
- ◆駐在所新設

インド

- ①グローバル企業開拓
- ②家電ビジネス
- ③車載関連ビジネス
- ◆EKI (樹脂成形)
- ◆デリーオフィス(商事)
- ◆南インド構想

ASEAN

- ①車載関連ビジネス
- ②電気機器ビジネス
- ◆Boramtek (アルミダイカスト)
- ◆Kuroda Indonesia(商事)
- ◆Kuroda Auto Tech(車載金型)
- ◆インドネシア構想

End of file